

|           |  |      |   |
|-----------|--|------|---|
| 講義名       | テーマパーク経営論  |      |   |
| 科目区分      | 学部フリーゾーン   |      |   |
| 担当教員      | 栗田 真樹  |      |   |
| 開講期・曜日・時限 | 前期 木曜日 3時限   | 授業形態 |   |
|           | 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース / 2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / |      |   |
| 履修開始年次    | 2年生  | 単位数  | 2 |
|           |  | 備考   |   |

### 主題と概要

テーマパークの概念をはじめ、開発、運営などについて国内外のテーマパークを事例にしてテーマパークの経営戦略や経営改革について学習する。とりわけ、東京ディズニーランド・リゾートやユニバーサル・スタジオ・ジャパンの成功要因などについて分析する。また、厳しい状況下にある地方都市のテーマパークや海外のテーマパークについても学習する。さらに、後半の講義では商業地や観光地などのテーマパーク化戦略についても学習する。

### 到達目標

国内外のテーマパークに実態や課題をはじめ、経営戦略や経営改革について把握することを最低限の到達目標とする。さらに、地方都市再生に向けて商業地や観光地のテーマパーク化戦略について考察を深めることを最終的な到達目標とする。

### 提出課題

出席を兼ねて、授業の後半に数回(4~5回)ミニレポートの提出を求める。

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

授業中に講評・解説します。

### 評価の基準

平常点：20%  
 中間試験：20点  
 期末試験：60%

### 履修にあたっての注意・助言他

、日頃からテーマパークに関する情報や知識の蓄積を求める。

### 教科書

.使用しない。

### プリント資料及び参考文献

授業(毎回)ごとに資料(レジュメ)を配布する。

### 授業計画

- 1.イントロダクション(授業計画、成績評価他)
- 2.テーマパークの概念、テーマパークの歴史の変遷他
- 3.テーマパークの開発・運営・経営計画他
- 4.東京ディズニーランドの経営・経営計画
- 5.東京ディズニーリゾートにみる経営計画
- 6.ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの経営改革
- 7.地方都市のテーマパークの実態と課題
- 8.海外のテーマパークの概況について
- 9.前半の授業のまとめ
- 10.中間試験
- 11.商業施設のテーマパーク化
- 12.観光地のテーマパーク化
- 13.商店街のテーマパーク化
- 14.テーマパークの今後の展望と課題
- 15.期末試験に向けた授業のまとめ

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

|  |
|--|
| ア：PBL(課題解決型学習)                             |
| イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ：ディスカッション、ディベート                           |
| エ：グループワーク                                  |
| オ：プレゼンテーション                                |
| カ：実習、フィールドワーク                              |

### 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

この授業科目は2単位ですが、2単位に必要な学修総時間は90時間と決められています。90時間の内訳は授業で30時間(2時間×15回)、予習・復習で60時間(4時間×15回)です。

予習・復習、中間レポート試験、定期試験の準備等、授業時間外で60時間の学修を達成できるように主体的・積極的に取り組んでください。

授業計画を参考にして、テーマパークの情報や知識を蓄積しておくことを望む。復習は、配布したレジュメや板書したキーワードなどを整理しておくことを求める。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

遠隔授業(「課題学修型」および「同時双方向型」)を行います。  
 スマートフォンで対応できることを基本としますが、インターネットにつながるPC、タブレット等も利用可能です。カメラ付きのPC、タブレットの利用を推奨します。  
 教材はパワーポイントのビデオ、音声ファイル、PDF等でRyukoPortal「講義連絡」にアップロードします。まず、アプリとしてはSkype for Business(ビデオ会議)とRespon(出席・課題等のコミュニケーション)が利用できるようにしておいてください。これらはIleBでも利用可能です。  
 また学内アドレス、パスワードを確認しておいてください。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考